

大阪大学  
21世紀  
懐徳堂

アイ・スポット  
**i-spot** 講座

# 世界の文学

受講料  
無料  
(各回申込制)



7/28金 ウルドゥー恋愛詩ガザルの世界

8/1火 アラブ文学と『アラビアン・ナイト』

9/13水 楠木正成はどのように  
イメージされてきたか

期間 2017年 7月28日(金)~9月13日(水)  
全3講座 (全て 19:00-20:30)

会場 大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」  
(大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋 odona2階)



・地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 10番出口直結  
・京阪本線「淀屋橋」駅 3番出口から徒歩1分  
・地下鉄堺筋線「北浜」駅 2番出口から徒歩8分

受講料 無料  
定員 30名(申込先着順)  
申込開始日 各講座の1ヶ月前から  
申込方法

■①受講を希望する講座名 ②受講者ご本人のお名前 ③年齢 ④電話番号を  
電話・メール・FAXのいずれかの方法にてお知らせください。

Tel・Fax ▶ 06-4866-6803 ※電話受付は平日 11:00~21:00、土日・祝日 13:00~17:00  
メール ▶ i-spot@voice.ocn.ne.jp

お問合せ アイ・スポット

<http://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000018184.html>

アイ・スポット 大阪市



ひらく・  
つたえる・  
わかちあう

大阪大学21世紀懐徳堂は、市民と大阪大学をつなぐ社会学連携や社会貢献活動の窓口です。大阪大学の高度な研究と教育の成果、文化的資源を広く社会に還元し、また、学外からの要望を受け、大学のさまざまな活動に反映させるコーディネータの役割を果たします。大阪大学の社会学連携の情報を集約し広報するとともに、大阪大学の精神的源流である「懐徳堂」で尊重された広範な分野にわたる学び合いの精神を汲み、公開講座、サイエンスカフェ、シンポジウムなどを企画・運営し、市民のみならずと学生、教職員が会い、能動的に学び合う場づくりを展開しています。

大阪大学  
21世紀  
懐徳堂

アイ・スポット  
i-spot 講座

# 世界の文学

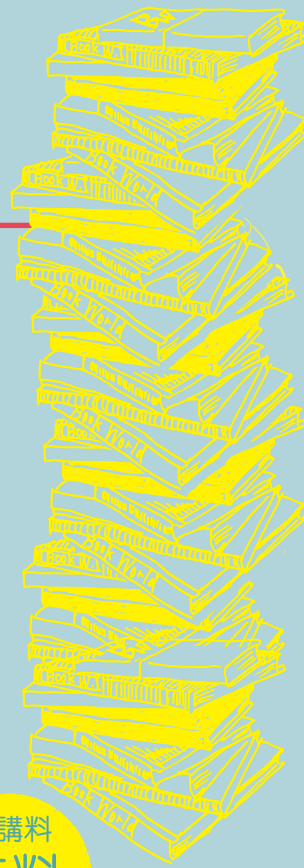
世界には、語り継がれる多くの文学作品が存在しています。  
今回のシリーズでは、  
あなたを文学の世界へと大阪大学の研究者が誘います。  
時代や国境を越え物語の世界に思いを馳せてみませんか？  
受講料は無料です。お気軽にご参加下さい！

i-spot 講座

大阪市と大阪大学が共催する、公開講座

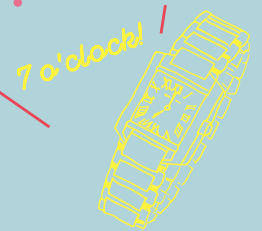
全3講座 受講料 無料 定員 各講座30名(申込先着順)

会場／大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」(淀屋橋 odona2 階)



アフター7は、i-spot 講座！

気軽に教養を身につけたい。  
仕事帰りに、知的気分転換したい。  
いつもと違う世界をのぞきたい。



7月28日(金) ①9:00-20:30

## ウルドゥー恋愛詩 ガザルの世界

松村耕光

大阪大学大学院言語文化研究科  
教授

ムスリム支配期の北インドでペルシア語の影響を受けて誕生したウルドゥー語。その文学は恋愛詩の宝庫です。恋愛詩にはいくつかの形式がありますが、今回は、ウルドゥー恋愛詩の中心的地位を占めているガザルを紹介致します。無視されても、虐げられても、美女や美青年や神を恋い慕い、恋い死にして埋められても土が熱くなるほど恋心を燃やし続ける狂恋者の姿を様々な技巧を駆使して表現するガザルの世界に是非触れて頂きたいと思います。

申込受付開始 6月28日(水)

8月1日(火) ①9:00-20:30

## アラブ文学と『アラビアン・ナイト』

近藤久美子 大阪大学大学院言語文化研究科 教授

広大なアラブ地域の文学とはどのようなものがあるかを、地域と歴史で解説いたします。アラブ人は古典詩が民族の最大の遺産と考え、誇りに思っていますが、これは日本ではほとんど知られていません。アラブが誇る古典詩を紹介し、日本と背景となる文化の相違について感じていただきます。また、アラブの話といえば『アラビアン・ナイト』がよく知られていますが、この物語もいったい何が「本物」だか、様々なバージョンがあり、各国で翻訳されています。『アラビアン・ナイト』と日本の文学との関係もご紹介いたします。

申込受付開始 7月1日(土)

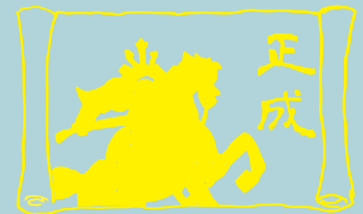


9月13日(水) ①9:00-20:30

## 楠木正成はどのように イメージされてきたか

勢田道生

大阪大学大学院文学研究科 特任講師



「楠木正成」というと、どのような人物を思い浮かべるでしょうか。忠臣、悪党、天才兵法家……。人によってイメージはさまざまでしょう。では、そのような正成のイメージは、どのようにして作られてきたのでしょうか。本講では、主に文学作品を対象として、楠木正成がどのようにイメージされてきたのか、南北朝時代から現代までの変遷をたどるとともに、さまざまな正成のイメージが創造された要因について考えていきます。

申込受付開始 8月13日(日)